

議事概要

件 名	第6回 土気踏切勉強会		
開催年月日	2022年12月20日(火) 17時00分～18時30分	場 所	土気公民館
主 催 者	千葉県・JR 千葉支社		
出 席 者	千葉県道路計画課、JR 東日本千葉支社千葉保線設備技術センター 土気地区町内自治会連絡協議会、土気本町一組町内会、 山の谷自治会、楓台自治会、梅ヶ丘自治会、土気南中央町内会		
打 合 せ 内 容			
<p>1 開会挨拶</p> <p>2 議事</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 利用実態調査の結果について</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 市道土気町47号線について(動画視聴)</p> <p style="margin-left: 20px;">(3) その他</p>			
<p>(1)利用実態調査の結果について</p> <p>・土気踏切が、日頃、どのような目的で利用されているのか実態を把握するために調査を行った。</p> <p>・調査日時:10月15日(土)、10月31日(月)の2日間</p> <p>・調査時間:午前7時～午後7時(12時間)</p> <p>・調査方法:土気踏切の利用者にヒヤリングを行った。</p> <p>・資料に基づき、調査結果を説明。</p> <p>※調査結果の要点まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数:15日(土)⇒139人、31日(月)⇒136人 2日間を通して車いすシルバーカーはいなかった。ベビーカーはお一人のみ。 ・2日間を比較して、時間帯別・方向別の利用者数は大きな違いは見られなかった。 ・2日間ともに「散歩・ジョギング」の利用が最も多かった。 ・多くは歩行者であり、利用目的は散歩・ジョギングが一番多かった。 ※行き先は利用者により様々であった。 ・調査時に利用者からさまざまなご意見をいただいた。(資料のとおり) <p>【地元からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽車両、二輪は何を示しているのか。 ・「未回答」と「その他」の違いは？ ・調査結果をどのように評価するのか。調査結果から踏切廃止を撤廃する結論になるのか。 ・踏切内の安全を考えれば、反射板でなくポールを設置した方がよかったのではないのか。 ・調査時間は12時間ということだが、24時間調査は考えなかったのか。 ・年齢別ということは考えなかったのか。 ・踏切に対する意見も調査したらよかったのではないか。 ・散歩される方は、安心して通ることができるから土気踏切を利用しているのではないか。 ・土気踏切よりもっと利用者が少ない踏切もある。そのような踏切を廃止すべきでは。 ・踏切手前の砂利道部が歩きづらく危ない。 			

【市・JRからの所見】

- ・軽車両は自転車(電動自転車含む)、二輪はバイクを示している。
- ・「未回答」は、急いでいる人などヒヤリングできなかった方の数。「その他」は、友人宅へ向かうなど、選択項目以外の目的の方の数を示している。
- ・踏切内のポール欠損箇所を反射板に変更した理由は、ポールの場合、劣化して倒れて列車と衝突するリスクがあるため。
 - ・早朝、夜間は一般的に利用者数が少ない。このことから、一般的に12時間調査としている。
 - また、前回調査が12時間であったため、比較する観点からも同様とした。
- ・年齢までヒヤリングしていないため分からない。
- ・利用者から意見があったものは資料に載せているが、調査の目的として、ヒヤリング時には市・JRから意見を求めた訳ではないし、全ての人から意見があったというわけではない。
- ・この調査結果だけで、踏切のあり方を決めるものではない。今後の検討材料の一つと認識している。
- ・踏切利用者から、「廃止されると困る」という意見がある一方で、「踏切は危険なため、廃止は賛成」という意見があった。
- ・土気踏切だけ廃止を打ち出しているわけではなく、利用実態や危険性を鑑み、他の踏切でも個々に検討・廃止協議を進めている。必ずしも優先順位をつけて対応している訳ではない。
- ・踏切直近の未舗装部は、道路境界が確定していないなど、何かしら課題があるものと推察される。緑土木事務所に要望項目は伝える。

(2) 前回勉強会で見た大網街道の動画に対するご意見振り返り

- ・歩道が狭く段差がある。
- ・踏切を通るより大網街道の方が危険だと思う。
- ・雑草が生えていて歩きづらい。
- ・側溝蓋の隙間や浮きがある。
- ・警察による取り締まりの強化や、規制標識の整備をしてほしい。
- ・街灯が少なく、夜の通行は危険。
- ・夜間は暗く、自転車での通行は危険。歩道では乗りづらい。

【地元からの意見】

- ・大網街道を自転車で走るの、狭いし、暗いし、坂もあり危ない。迂回路としては危ない。土気踏切の方が安全。※次回以降、夜間の自転車の通行状況も勉強しよう。
- ・大網街道の課題が解決できなければ踏切は閉められないということでもいいのか。
- ・大網街道の課題が解消されるまでの踏切を存続させるべきと書いてあるが、大網街道の課題はどうとらえているのか。
- ・う回路の整備の見通しが立たず廃止をするのは危険だと思う、整備の見通しが立てば考えようもある。

【市・JRからの所見】

- ・今後、大網街道の課題については、短期的に対応できるもの、長期間の時間を要するものがあり、これらを整理した上で、迂回路の整備方針や踏切のあり方について総合的に判断することになると思う。(いずれ地元の方に改めて対応方針をお示ししなければならないと考えている。)
- ・大網街道の自転車走行については、我々も安全だとは言っていない。自転車は、例外はあるものの車道走行が原則のルールになっており、市では、現在、より安全に通行できるように路肩を広げたり、路面をカラー化したり、走りやすいように道路改良に取り組んでいる。
- ・大網街道は片側1車線の中、交通量が多く、慢性的に混雑している箇所がある。また、歩道が狭かったり、歩道がないなど、地元の皆様や関係議員からも、ご要望を多くいただいております、改善の必要性は認識している。

(3)市道土気町47号線の動画視聴(土気公民館からミニストップまでの区間約330m)

動画をご視聴いただきながら、課題とを感じる箇所を地図に記載していただいた。

【地元からの意見】

- ・歩道がなく法面となっているところは道路用地なのか。その部分が整備できないのは土地所有者と千葉市どちらの問題なのか。
- ・歩道が不自然に途切れている。踏切の迂回路に関係なく、整備に向けて取り組むべき。

【市・JRからの所見】

- ・現在、道路境界等を調査しているが、法面の部分は道路用地だと思われる。この箇所を含め、歩道がない区間があるので、詳しく境界について調べているところ。(境界の問題は、ケースバイケースであり、隣接地権者若しくは市のどちらに問題があるかは現時点では分からない。)
- ・この路線は、土気踏切の迂回路としてメインの路線になるので、今後、境界確認や地権者との交渉を進めていく考え。

(4)そのほか

【地元からの意見】

- ・土気踏切を利用してあすみが丘東保育園に通っている世帯がある。踏切廃止されたら困ると思う。
- ・大網街道の歩いて課題箇所を地図に記録し、写真もとって資料を作成した。参考にその写しを市に提供する。また、朝日新聞に踏切廃止の記事が掲載されていたため、皆様に提供する。国は一種踏切についても廃止することとしているのか。

【市・JRからの所見】

- ・朝日新聞の記事は、4種踏切の廃止に関する記事と認識している。国は、4種踏切を廃止もしくは1種化へ改良と指導しているが、1種踏切の廃止を否定するものではない。踏切は種別に限らず、鉄道と道路とが平面交差しており事故リスクが内在化している。そのため、鉄道事業者としては、廃止することが究極の安全であると考えている。いずれの踏切においても利用実態などを鑑み、丁寧に説明させていただき、関係機関と協議をしていきたいと思っている。
- ・踏切において、トラブルなどがあれば、直ちに非常ボタンを押していただきたい。しかし、実際に押す機会はなかなかないと思うので模擬の非常ボタンを使った訓練を年明けに土気踏切で実施することを提案したい。よろしければ、千葉市経由でご案内させていただく。なお、土気踏切掲示板にも案内を掲示し、日頃の利用者にもご参加いただきたいと考えている。
⇒異論なし。
- ・次回の第7回勉強会は、3月頃を目途に開催したい。

以上